

第ⅩⅠ期 事業報告書

2020年6月1日～2021年5月31日

当法人の活動目的は、人と動物が良きパートナーとして、共に幸せに暮らせる社会を作っていくことである。そのために、以下3つの活動を行い、また当法人の組織基盤の強化も図りながら、日本の動物福祉を世界トップレベルまで引き上げていくことを目指す。

- ① 動物福祉活動に従事する非営利法人に対して寄付支援を中心とする活動支援
- ② 動物福祉に対する考え方や情報を社会に発信していくセミナー等の企画運営
- ③ セミナー、WEB掲載等に活用するための情報リサーチ

1. 寄付支援事業

【目的と意義】

2011年9月にカットオーバーされた「アニマル・ドネーション」を通じて、支援先団体と寄付者を結び付ける事業である。支援先団体としては、遺棄動物の保護団体や補助犬育成団体や動物愛護の精神を啓発する団体等を対象としている。これらの対象法人の活動資金源の過半は「寄付」である。寄付による支援活動を活発化させることにより、動物福祉の底上げを図ることを目的としている。また、誰しものが気軽に寄付による支援が行えるオンラインでの寄付システムの提供や、企業等と協力した寄付の仕組みを提供することで、日本に寄付文化が定着していくことに貢献することも目的としている。

11期終了後の寄付の総額は、約2億1000万円となりサイトへの信頼性は増した。

1) 個人からの寄付支援事業

クレジットカードによるオンライン寄付システムを提供し、個人からの寄付を集め、支援先団体へ届ける事業。また、寄付金を募りやすい環境を作るために、支援先団体向けの活動支援や情報共有、勉強会運営、印刷物発行などを行う。寄付者に対しては、支援先団体の活動状況や、寄付金の使途、課題に対する情報などを、オンラインサイト内の記事やSNSなどを利用して提供する。

個人からの今期の寄付金額は3,302万円、累計では7,078万円となり、支援先団体数は2021年5月時点で20団体（通算24団体）となっている。

今期の個人寄付は、前期よりも約1,888万円増加した。

2020年、新型コロナによる影響は甚大であった。支援先活動団体の活動が困難になる事態に対し、スピード感のある緊急支援を実施（Yahoo!ネット募金等）。また、寄付金以外の情報支援にも注力。困っている今現在に必要なと思われる情報をこれまで構築してきたネットワークを生かして奔走、提供した。また、もともと根深い問題である動物福祉の問題がコロナによりあぶり出された1年と言える。知識不足による安易な飼育、多頭飼育崩壊、外猫問題などに、引き続き対処した。多頭飼育崩壊のレスキューに対して、1頭1万円の支援ができる「緊急支援基金」を設立。過酷な現場に立ち向かう支援先団体をサポートできる基金となり、寄付者にも支援先にも評価されている。

2020年に遺贈サイト（アニドネレガシーサイト）を全面リニューアル。問い合わせ増につながった。また2021年5月末には、紙媒体の専門パンフレットが完成。今後の遺贈寄付に繋げる。

2020年4月に東京都港区版ふるさと納税制度の活用先のうち「公益的活動団体の支援」の対象団体に選定。11期にふるさと納税による寄付となる。また、2021年2月に内閣府より「紺綬褒章認定法人」に認定をうけた。これまでの当法人の寄付実績が信頼性へ繋がり、公益法人の中でも20数団体しか認められてない認定法人となった。

2) 企業団体からの寄付支援事業

企業の社会貢献として当法人と協働した寄付企画を立案し実行する事業。企業の扱う商品の一部が寄付となる商品開発や、企業と協働した寄付キャンペーンの企画立案を行う。日本においても、SDGs を意識した社会貢献を模索する企業が増えてきている。その際に、企業が寄付活動に取り組みやすい環境を作るために、企画立案やコンサルティングを行う。

企業団体からの今期の寄付金額は、2,883 万円、累計では、13,996 万円となった。
今期の企業寄付は、前期よりも約 1,213 万円増加した。

2. セミナー等の企画運営事業

【目的と意義】

犬や猫の動物飼養に対する正しい認知・知識を社会全体で持つことが、人も動物も暮らしやすい社会づくり、動物福祉の向上にとって重要である。「動物福祉」という言葉自体に市民権が得られていない現状において、問題点・課題点をまずは認知することが動物福祉向上への道筋となる。対象は学生、企業、クラブアニドネ等、対象によって講義内容を変え、オンラインにて実施。動物飼養や動物福祉に関する歴史や正しい知識を学び、自身がどう行動すべきか、を考えられるセミナーとなっている。

◆日時:2020年8月6日 11:00-12:30

場所:オンライン zoom

対象者: 日本福祉大学 子ども発達学部 心理臨床学科社会福祉論(1年生科目)

人数:1年生約100名

テーマ『知ってみよう 動物の福祉について』

講師: 糸ひとみ

◆日時:2020年8月15日 11:30-13:00

場所:オンライン zoom

対象者:クラブアニドネ

人数:20名

テーマ「日本と世界の動物福祉について」

講師:西平衣里

◆日時:2020年9月14日 12:00-13:00

場所:オンライン zoom

対象者:株式会社 FILL LIGHT 社員対象

人数:4名

テーマ「日本と世界の動物福祉について」

講師:西平衣里

◆日時:2020年10月27日 14:00-15:00

場所:オンライン zoom

対象者:エクイニクス・ジャパン株式会社 社員対象

人数:約60名

テーマ「日本と世界の動物福祉について」

講師:西平衣里 糸ひとみ

◆日時:2020年12月21日 11:00-12:30

場所:オンライン zoom

対象者:マーケティングパートナー株式会社 社員対象

人数:2名

テーマ「日本と世界の動物福祉について」

講師:西平衣里

3. リサーチ事業

【目的と意義】

動物福祉に関する多様な考え方や情報を共有していくことが、社会全体の関心を高め、業界全体がボトムアップしていくために重要である。そこで、国内・海外の事例のリサーチ、専門家インタビュー等を通じて、動物福祉に関するナレッジを蓄積し、情報開示を行っている。業界が抱えている課題やベストプラクティスを学び合っていく。

11 期は、海外在住の動物事情に詳しい人物を探してインタビューを実施（バリ、韓国、ドイツ、オランダ）。記事を作成しながら各国の法律や問題点等リサーチ。国によって全く異なる動物観を知ることによって日本の進むべき方向性を調査した。

また、コロナはペットも罹患するエビデンスが出たことから飼い主が正しい知識を持つ重要性が増した。どう動物と接するのか「知識と対策」という観点から、動物の感染症の専門家にインタビューを実施。他にも、ペットロボットの開発者と獣医師へ取材。AIによる「動物の未来」を探った。

4. 管理事業

【目的と意義】

当法人の目的や活動内容に理解・賛同をして、共に活動にしていだける方の拡大は、当法人の活動展開の上できわめて重要であり、活動の源となる。よって、当法人への会員になることで会費を提供いただく会員制度やボランティアという労力で活動を支える会員制度を設立し、活動規模を拡げる目的である。

1) 賛助会員制度

一口3千円からの個人賛助会員と一口3万円の法人賛助会員を設けている。入会した賛助会員に向けては、会報誌の配布を通じた活動報告、毎月のメールマガジンの配布を行い、理解と関心を深めていただく施策を実施している。

今期は、個人賛助会員16名・法人賛助会員7社を募った。

2) スタッフの拡充

有償スタッフやボランティアスタッフを拡充し、組織運営の基盤強化を進めていく。活動内容は、会報誌の制作、SNSや当法人サイトを使つての情報発信、リサーチ活動、寄付金管理業務の強化を実施した。

今期は、ボランティアスタッフをさらに拡充し約60名体制としている。

3) 外部アドバイザリーボード

法人運営の拡大や透明性を高めるために、動物学、経営学等の有識者数名を外部アドバイザーに迎えて、「審議委員会」を設けている。年1回審議会を開催して、支援先団体の選定に関する審議や、当法人の運営についてアドバイスをもらった。

今期の審議会は、外部有識者4名、当法人の代表理事1名の合計5名で構成している。2020年12月に審議委員会を実施。例年6月実施だがコロナの影響により日程変更を余儀なくされた。

5. 税額控除に係る証明申請

寄付者の皆様から頂いた寄付が税額控除の対象となるように、税額控除に係る証明の申請を行い、平成30年5月29日から令和5年5月28日までの期間の証明書を受領し活動継続した。

以上